

日本のEVバスの技術・ノウハウ発信

①実施概要

・モビリティの脱炭素化に向けた国際的なモメンタム醸成に貢献すべく、会場内外周バスや会場アクセスバスにおいて、日本の優れたEVバスを積極的に活用し、世界への技術・ノウハウの発信を行う



提供：関西電力・Osaka Metro

(実施主体) バス運行事業者

(実施場所) 会場内外周バス
会場アクセスバス

(実施期間) 開催期間前から期間中まで

連絡先 経済産業省製造産業局自動車課

03-3501-1511(内線)3831~3836

国土交通省物流・自動車局技術・環境政策課 03-5253-8592

国土交通省物流・自動車局旅客課 03-5253-8571

国土交通省総合政策局地域交通課 03-5253-8396

環境省水・大気環境局モビリティ環境対策課脱炭素モビリティ事業室

03-5521-8301

②今後の実施方針

・必要規模のEVバスの導入支援、EMS×FMS（運行管理と一体となったエネルギーマネジメントシステム）、DWPT（走行中に利用可能な無線給電）の開発・実証を行うほか、国内メーカーによるEVバスの開発を後押しする。

③予算

【経済産業省（グリーンイノベーション基金事業）】

令和2年度第3次補正予算額：102,000百万円の内数

https://www.nedo.go.jp/news/press/AA5_101560.html

【国土交通省】

令和6年度予算額：507,053百万円の内数

<https://www.mlit.go.jp/page/content/001720596.pdf> (P2)

令和7年度概算決定額：487,576百万円の内数

<https://www.mlit.go.jp/page/content/001854871.pdf> (P2)

【環境省】

令和6年度補正予算額：40,000百万円の内数

<https://www.env.go.jp/content/000267802.pdf>

④工程表

2024年度

2025年度

EVバスの導入支援
EMS×FMS、DWPTの開発・動作検証
国内メーカーによるEVバス開発の後押し

会場内外周バス・会場アクセスバスで
日本のEVバス技術・ノウハウを発信